

手作業によるエコな牛首紬の端材を用いた

加藤改石がま口シリーズ

加藤手織牛首つむぎ（白山市桑島）



- 絹の滑らかさと手作業による独特の風合いがある加藤手織牛首つむぎは主に着物などに使われていますが、その使いきれない端材を活用して、コインケースやミニバッグを製作しました。
- 石川県の無形文化財や国の伝統的工芸品に指定されている牛首紬を、より身近に多くの人に使っていただきたいと考えています。
- また、繭から糸をつむぎ手作業で織るという昔と変わらぬ工程は、使用する電気等が少なく環境にやさしいです。

審査委員コメント

蚕が作る繭から製糸し手織りする製造方法そのものがエコです。未利用端材を、試行錯誤して、外観の色彩や素材感の美しさを見せた小物に製品化しています。伝統的な牛首つむぎを手軽に持てるのも魅力的です。